

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料3-1

協議会名： 田原市地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域公共交通確保維持事業／地域内フィーダー系統

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価	【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価	【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
豊鉄ミディ(株)	ぐるりんバス市街地線 (田原駅～田原駅)	・路線カルテの作成にて地域と情報共有した。 ・地域の商工団体と連携した利用促進に取り組んだ。 ・平成30年10月に市街地西線・東線の2路線を市街地線1路線に統合した。 ・ぐるりんバス「海号」「花号」ペーパークラフトを配信	A	・計画どおり適切に実施した。	B	【※評価基準は、目標値を超えていればA評価、目標値の50%以上がB評価、目標値の50%未満でC評価とする】 ・1便当たり利用者数 3.9人で目標値を達成できなかった。 (目標5.0人、昨年度3.1人) ・未達成の主な理由として、コロナ禍による生活様式の変化による移動の減少等が考えられる。 ・1便当たりの利用者数については、10月から3月が3.5人、4月から9月が4.3人となっており、前年度と比較して通院目的の利用者を中心に回復傾向となっている。 ・商工団体と連携した利用促進を11月～12月と6月～8月の2回実施し利用者数は前年比26%増となっている。 ・地域カルテを地域と共有し、地域主体で路線のPR等の回覧を実施した。	・車内換気や従業員のマスク着用、車内消毒等の新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと行い、利用者に対して安全な公共交通であり続けられるよう取り組む。 ・地域版MaaSアプリ等と連携し、DX等の技術を活用した利用促進の検討 ・引き続き商業施設や商業団体と連携した利用促進策等を実施し、官民一体となった「守り育てる」公共交通利用促進事業を検討。
	ぐるりんバス童浦線 (片西南～渥美病院)	・路線カルテの作成にて地域と情報共有した。 ・地域の商工団体と連携した利用促進に取り組んだ。 ・令和元年10月より白谷海浜公園等(白谷地域)のバス停を新設のサンテパルク線へ付替えを実施した。			A	・1便当たり利用者数 7.5人で目標値を達成した。 (目標5.0人、昨年度6.3人) ・1便当たりの利用者数については、10月から3月が7.0人、4月から9月が8.0人となっており、前年度と比較して主に臨海部企業従業員の利用が回復傾向となっている。 ・商工団体と連携した利用促進を11月～12月と6月～8月の2回実施し利用者数は前年比16%増となっている。 ・地域カルテを地域と共有し、地域主体で路線のPR等の回覧や老人会での周知を実施した。	
	ぐるりんバスサンテパルク線 (芦集会所～渥美病院)	・路線カルテの作成や校区公共交通利用推進協議会で地域と情報共有した。 ・地域の商工団体と連携した利用促進に取り組んだ。 ・令和元年10月より田原駅からサンテパルク(野田地域)や白谷海浜公園までの直通便となるサンテパルク線へ路線変更を実施した。 ・令和3年4月からダイヤを一部変更した。 ・ぐるりんバス「農業号」ペーパークラフトを配信			B	・1便当たり利用者数 4.4人で目標値を達成できなかった。 (目標5.0人、昨年度4.3人) ・未達成の主な理由として、コロナ禍による生活様式の変化による移動の減少等が考えられる。 ・1便当たりの利用者数については、小中学生の通学目的の無い8月を除くと4.5人となっており、回復傾向にある。 ・通院目的の利用者は引き続き利用している。 ・地域カルテを地域と共有し、地域主体で路線のPR等の回覧や地元のお祭りでの利用の呼び掛け等を実施した。	
渥美交通(株)	ぐるりんミニバス表浜線 (図書館～図書館)	・路線カルテの作成にて地域と情報共有した。 ・地域の商工団体と連携した利用促進に取り組んだ。 ・令和元年10月より高松線の一部を統合したルート変更・ダイヤ変更を実施した。			B	・1便当たり利用者数 2.7人で目標を達成できなかった。 (目標3.0人、昨年度2.5人) ・未達成の主な理由として、コロナ禍による生活様式の変化による移動の減少等が考えられる。 ・1便当たりの利用者数については、年間を通して大きな増減はなく、利用者の回復傾向があまり見られていない。 ・ルート変更等により利用者数が増加したが、新型コロナウイルスの影響後は、高齢者の外出目的での利用者数が減少した。 ・通院や買い物目的の利用者は引き続き利用している。 ・地域カルテを地域と共有し、地域主体で路線のPR等の回覧や地元のお祭りでの利用の呼び掛け等を実施した。	・目標:1便当りの利用者数 市街地線・童浦線・サンテパルク線:5人 表浜線:3人